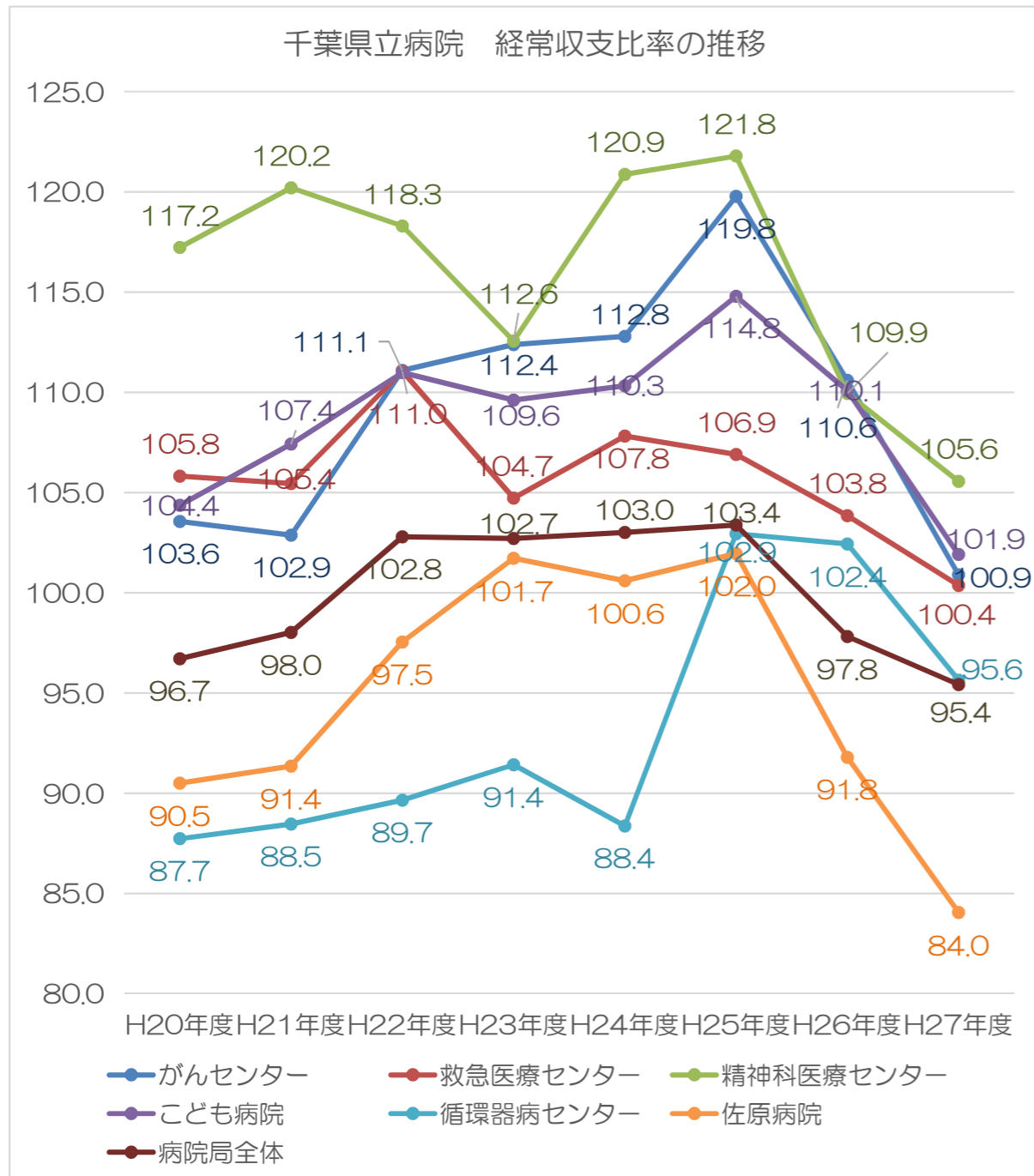


千葉県立病院新改革プランの収支計画について ～経常収支黒字化に向けた取組み～

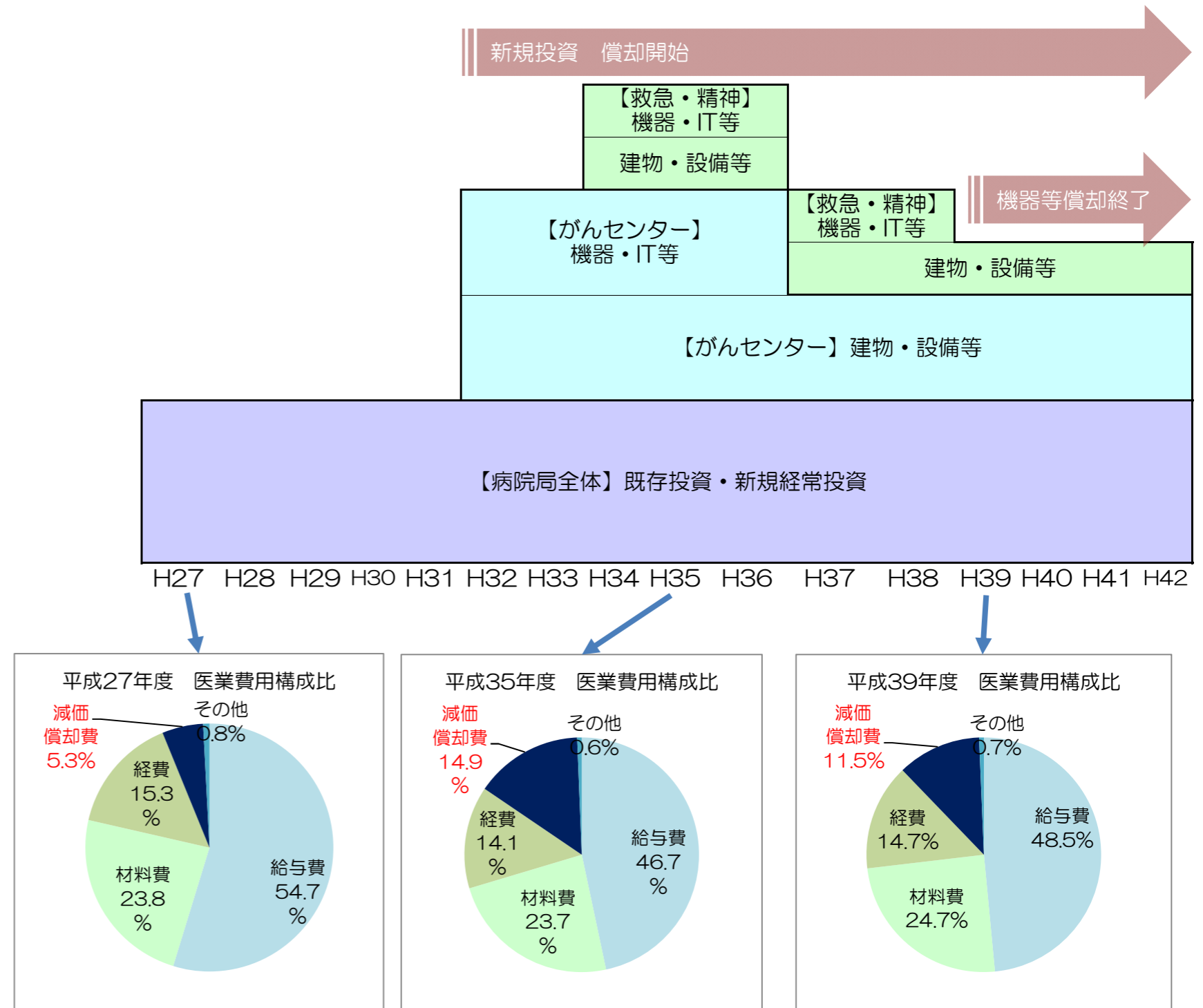
1. 千葉県立病院 経常収支比率の推移

病院局全体では、平成22年度に経常収支比率が100%を超え、平成25年度まで黒字で推移していた。これは、収益規模の大きいがんセンターが110%前後の経常収支比率を達成していた影響が大きい。しかし、平成26年度以降、医療事故等の影響によりがんセンターの経常収支比率が著しく低下した影響で、病院局全体で平成26年度から経常収支比率が100%を下回っている。



2. 減価償却費の見込み

千葉県立病院では、今後、がんセンターの新棟建築(H31)、救急医療センター・精神科医療センターの一体的整備(H33)といった大規模整備が予定されている。現段階の概算では、新規投資分の償却が始まる平成32年度～34年度から、減価償却費が現状の3倍程度に達する見込みである。医療機器、情報システムの償却が終了する平成39年度から経常収支が向上する見込みである。



3. 収支計画における必要条件について

項目	がんセンター		救急医療センター		精神科医療センター		こども病院		循環器病センター		佐原病院		
医業収益													
入院収益	1日平均患者数	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32
		249人	315人	76人	76人	45人	45人	147人	163人	163人	187人	143人	187人
	(変動要素) 青字：増加条件 赤字：減少条件	■診療科別アクションプランの 実行、進捗管理、医療安全向上に 向けた取り組み等により、減少傾向に ある紹介患者を中心に確保する		■看護必要度の算定基準見直しな どの影響により、救急患者の競合 環境が厳しくなっていること、救 急医療需要の季節変動が大きいこ となども鑑み、現状の水準を維持		■個室数により措置入院患者の受 入れの制約があるため、現状の水 準を維持		■H27年度実績に対して、1日当 たり16人の入院患者数の増加 ■新生児科医師の確保による、 NICUなどの稼働率向上 ■地域医療機関、消防隊との関係 強化により、紹介患者・救急患者 の確保		■H27年度実績に対して、1日当 たり24人の入院患者数の増加 ■地域医療機関、消防隊との関係 強化による、紹介患者、救急患者 の確保		■H27年度実績に対して、1日当 たり44人の入院患者数の増加 ■療法士の増員による地域包括ケ ア病棟の稼働率向上 ■医師の増員による患者確保 ■地域医療機関、消防隊との関係 強化により、紹介患者・救急患者 の確保	
	病床利用率	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32
	73% (341床)	70% (451床)	76.1%	75.6%	89.1%	89.1%	72.0%	80.0%	74.0%	85.9%	68.0%	88.9%	
入院収益	入院診療単価	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32
		61,267円	66,251円	113,793円	113,793円	35,179円	35,080円	85,483円	86,001円	82,077円	84,950円	45,000円	45,486円
	(変動要素) 青字：増加条件 赤字：減少条件	■都道府県がん診療連携拠点病院 の再指定によるがん拠点病院加算 の再取得 ■患者増に伴う手術件数の増加 ■機能評価係数Ⅱの向上 ■新病棟稼働に伴う増収 (無菌治療室の増床、HCU特定入 院料、緩和ケア病棟増床など)		■平均在院日数を段階的に短縮す ることで、診療単価の向上を図 る。		■アウトリーチの推進、クリティ カルパスの拡充などにより、現状 の高い入院診療単価を維持 (H28 当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		■患者増に併せた手術件数の増加 ■機能評価係数Ⅱの向上		■機能評価係数Ⅱの向上 ■高齢者に対するケアを中心とし た新規施設基準の取得 ■人間ドックの強化 ■一般10:1への移行による機能評 価係数Ⅰの減少	
	1日平均患者数	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32
	553人	590人	39人	39人	129人	131人	349人	340人	365人	368人	464人	535人	
外来収益	(変動要素) 青字：増加条件 赤字：減少条件	■入院患者数の増加に併せ 患者確保		現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		■H27年度実績に対して、1日当 たり70人の外来患者数の増加	
	外来診療単価	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32
		30,923円	32,748円	18,719円	18,000円	14,589円	14,474円	27,677円	27,623円	11,124円	10,935円	9,103円	9,645円
	(変動要素) 青字：増加条件 赤字：減少条件	現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		現状の水準を維持 (H28当初計画)		■H28当初計画に対して、救急の 受入体制、他の医療機関との連携 体制強化による新規施設基準の取 得		■訪問看護の充実(機能強化型訪 問看護STの認定) ■訪問診療、往診の実施(在宅療 養後方支援病院の認定)	
医業費用 (変動要素) 青字：減少条件 赤字：増加条件	■新病院に向けた人身体制整備 ■新病院投資に伴う減価償却費の 増(数十億規模の増) ■材料費の抑制		■材料費の抑制		■減員が続いている医師の確保		■新生児科医師確保(NICUなどの 稼働率向上のため) ■材料費の抑制		■病床稼働向上に向けた人身体制 整備 ■材料費の抑制		■病床稼働向上に向けた療法士、 医師の確保 ■一般病棟入院基本料の届出変更 による病棟看護師の調整 ■材料費の抑制		
経常収支比率 黒字化の見通し	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	H27実績	H32	
	100.9%	未達成 ※減価償却費の増	100.4%	達成	105.6%	達成	101.9%	達成	95.6%	収支均衡	84.0%	未達成	